

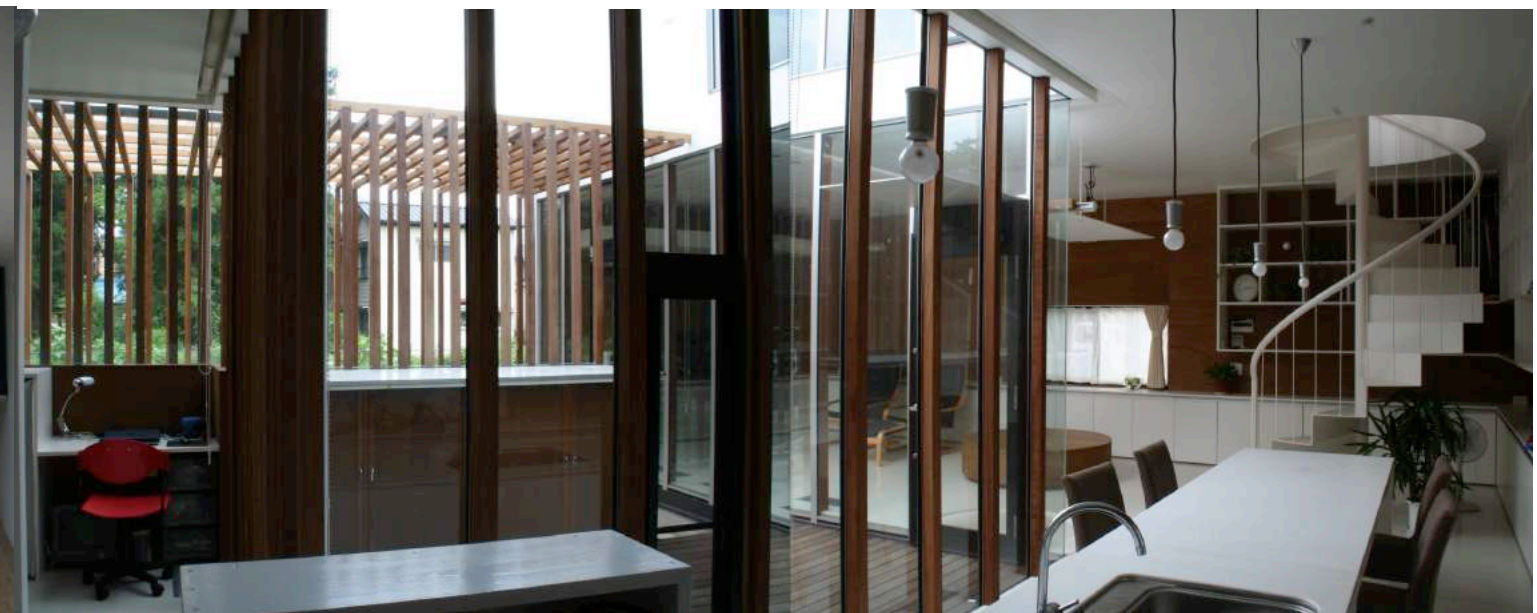
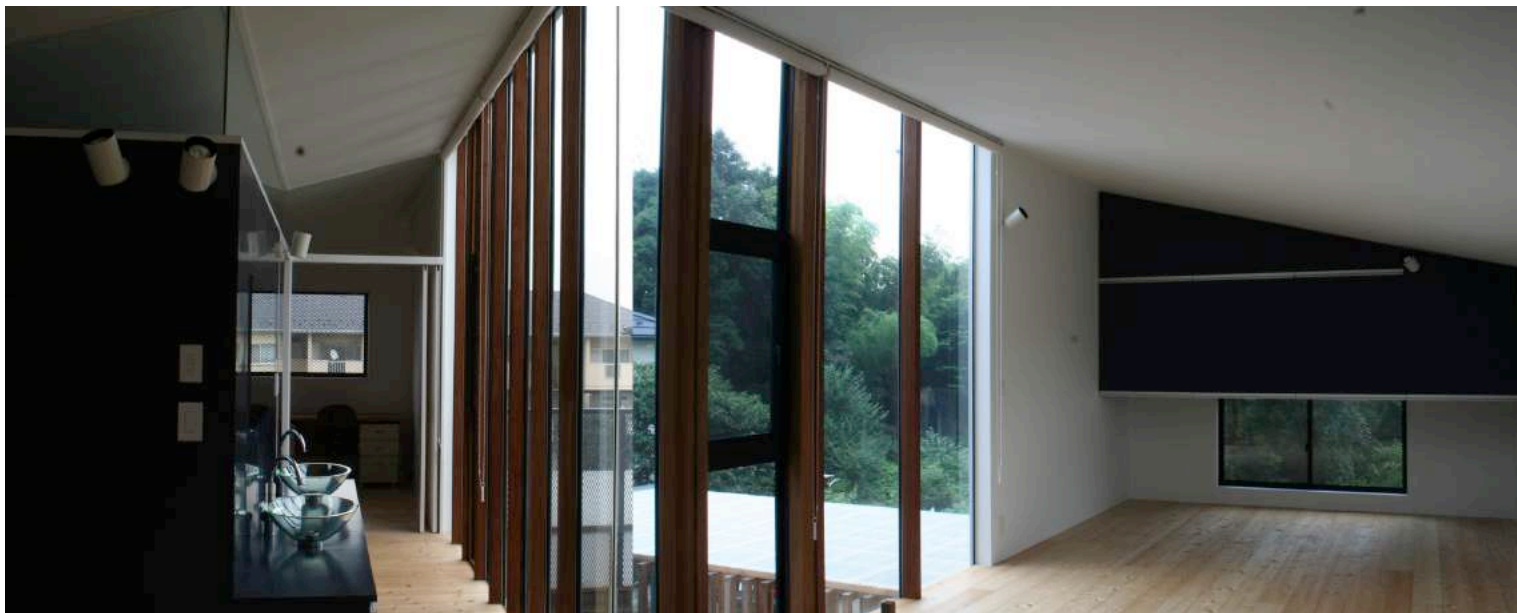
千葉県流山市にある住宅。
つくばエクスプレスの開通によって、今後開発が始まると考えられる地域であるが、生活するのに車が必要な場所でもある。建築と外部の距離の取り方、建築内部の距離の取り方がポイントとなった。

『距離の取り方』
60mm×60mmの細い柱を連続させることで、外部と内部があいまいにつながる。柱ピッチをガレージ@200mm、リビング@600mm・@900mm、ダイニングキッチン@480mm、書斎@320mmとスペースごとに変え、平面的距離とは別の視覚的距離を生み出している。小さな住宅のワンルーム空間においては有効な手法の1つであると考え。

『車との関係』
建築と車が切り離されている住宅をよく見かけるが、車は想像以上に面積を要する。建築とガレージは距離を取りつつ一体化しているのがよいと考える。そこで、柱をガレージまで連続させることで一つのボリュームとしつつ、ピッチを細かくすることで距離を取っている。かつ、断面的にも床を50cm高くし、110cmの外部収納を設けることで160cmのずれを生み出す(SECTION参照)。それにより車との距離を保っている。

『空調設備について』
通常住宅は一般的には壁掛け式のエアコンが使用されるが、ワンルームで仕切がなくガラス面が多いこと、床下にスペースがあるという点から床下にエアコンを設置した。床下から空調することでスペース全体を均一にコントロールすることができる。床下に空気が循環することで暖房使用時には床暖房の機能も期待できる。

それぞれに距離を取ることで、小さな郊外の住宅の一つの解答ができたのではないかと考えている。



<流山-K>
Nagareyama-K

所在地：千葉県流山市
主要用途：専用住宅
主体構造：木造
建築面積：59.81㎡
延床面積：112.26㎡

